

桐島こより

ひよこの学校、ふたりのヴェロニカ

——殺される！——

読み終えた小説を慌てて隠す
空の弁当箱が微かに音を立てる
薄暗い教室 欠伸する隣人
冷や汗をかく私 囀る小鳥
啄まれる精神 踏まれるイエス
転ばされる作家 留まるひよこ

濡れた手でブックカバーを密かに握りしめる
読んではいけない本を読んだと震え上がる
血を流し保健室で寝込む
沈黙が響く

作家と同じものを覗き込んだ
埒外に生き異教徒と蔑まれながら
困われた羊の苦境を想った
その場に涙を拭った女がいたとは知らず

堅牢な門の門が抜かれる日が来た
私たちは飛び立った 光の中へ 南を目指し

眩しそうに見上げる目
今年も留まるひよこ
天からハンカチが降る
やがて雷鳴が轟く